

年中行事には
是非ご参加く
ださい

年中行事（正月祈祷・
春秋彼岸・お盆法要）
には是非ご参加ください。
お盆の法要（おせ
がき）は近在の和尚様方
が出席されて厳粛に行われます。春と秋の彼
岸は、工夫をこらした催し物をしています。

正月祈祷は一年をすがすがしい氣分で始める
ための10分ほどの法要です。本堂はすべて
椅子席です。お墓参りをするだけでは供養に
はありません。寺での行事にご参加ください。

お参りはご家
族そろつて！

寺やお墓参りはご家族
でお参りください。親
から子へ、子から孫へ
と引き継がれます。む
ずかしい仏教の教えも
自然と理解できます。

年忌法要後の
食事は寺でも
できます

壇信徒会館（三階建）は、
年忌法要後のお食事に
お使いいただけます。
壇信徒会館の二階は椅
子席で二十席。三階も椅
子席になりました。四十名くらいまで会食で
きます。出張して食事を用意してくれる店も
ご紹介できます。

墓所の工事をす
る時は寺へご連
絡ください

各家の墓所を大きく改
修する時、あるいは小
さな修理等でも施工す
る石材店に工事をする
上の注意事項があり
ますので、寺へご連絡ください。

なお、墓地を整備したため、十力所ほどの
新しい区画があります。ご親戚やお知り合い
で必要とされる方がおられましたら、お頒け
することができます。

詳しいことは寺へ直接連絡ください。
詳しいことは寺へ直接連絡ください。

日曜の朝の坐禅

毎週日曜日の朝六時か
ら七時まで、松岩寺本
堂での坐禅にどなたで
も参加できます。朝六
時に鐘をつきますか
ら、それまでに本堂に入つてください。初め
ての方にも丁寧に坐り方をご案内します。三
十分ほど坐つて休憩、残りの十五分ほど坐つ
て、最後に般若心経をよんと七時に解散です。

別紙に「靈園管理費のお願い」を同封
しました。



編集後記

※裏面もぜんぶ住職の文章で、文字ばかりの読みにくいお
しらせになってしましました。なぜかというと、彼岸の法
要以外に行事や催し物のご案内がないからです。

※昨年夏に「夏目漱石と禅」をテーマにした旅行がおわって、
てしまつたけれど、はじめていません。ここ数年、こうし
た旅行に必ず参加してくれた某ご夫妻が体調不順で、おな
じみさんが不調なのに相変わらず継続するのも気が引けて、
なぞともっともらしい理由をつけています……。

※旅行社にすべてを丸投げすることが出来ない性分です。
からと、ルートや貸切バスの手配、ホテルの予約まで住職
がするとなると結構大変です。旅行を企画実行するのは決
して嫌いではないのですが、いまのところ気力がわかない
といったところでしょうか。

※そんなわけで、住職の文章ばかりのおたよりになつてしま
いましたが、これでも書き切れないことはいっぱいあり
ます。たとえば、裏面の『仏教抹殺』の筆者は廢仏の激しかつ
た地域として三重県の伊勢をあげています。伊勢神宮の本
拠地ですから当然といえば当然ですが、そのことよりも驚
いたのは歴代天皇で最初に伊勢神宮をお参りしたのは明治
天皇だというのです。伊勢神宮つて皇室の神社という印象
が強いけれど、それは明治維新以後作られた、たかだか百
五十年のイメージなのか。
※身近なところでも明治の荒波の波紋をみることができます、
熊谷の夏まつりの写真で、「八幡大菩薩」と「牛頭天王」
をかかげる山車をみました。菩薩も天王も仏さまです。知つ
てるのかなあー。もつというと、京都の八坂神社も明治維
新までは、祇園社感神院という比叡山の別院でお寺だった
とか。天皇家だつて明治天皇以前は仏教徒で、葬儀も法要
も仏式だった。なんて話は、御代がかわる頃にまた。(住職記)

春の彼岸は本山・妙心寺
より派遣された布教師さ
んによる法話です。

布教師さんの中でも、若手の投場です。「たよらない
のが仏さま、無依の道人」というテーマです。これは、
ご本人が選んだものではなくて、ご本山が今年推進し
ていこうとしているテーマです。仏教教団なのに「仏
さまにたよらない」という。これはおもしろい。ご期
待を。

本堂は全部椅子席です。席を用意
する都合上、ご出席の方は電話・
FAX・Eメール等でご連絡くだ
さい。

三月二三日（土曜日）

十一時　彼岸法要　ひきづり
法話　「たよらないのが仏さま
無依の道人」

桐野祥陽 師

（京都府舞鶴市・大泉寺住職）

正午に終了

靈園管理費のお願いが別紙にあります。

360-0815 埼玉県熊谷市本石1-102

臨済宗妙心寺派 松岩寺 住職 花岡博芳

tel 048-522-1812 fax 522-9189

www.shoganji.or.jp / chief@shoganji.or.jp